

第239回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

(令和2年6月)

株式会社 岩手朝日テレビ

第 239 回岩手朝日テレビ
放送番組審議会（書面による審議）

今回の放送番組審議会は、新型コロナウイルス感染防止の観点から 6 月 24 日に予定していた第 237 回の放送番組審議会についてはレポートの提出により審議を行いました。

1. 開催年月日 当初の日程 2020 年 6 月 24 日（水）
6 月 30 日までに、委員全員から課題番組に対するレポートを提出いただき、その後レポートにおける質問や意見に対して番組担当ディレクターが回答をまとめ、委員からの意見を集約し議事録を作成。

2. 委員の出欠（レポートの提出）

委員総数 8 名

出席委員数 8 名

委員 長	村 田 久
委 員	小 松 豊
委 員	石 川 健 正
委 員	そのだ つくし
委 員	高 橋 惣 兵 衛
委 員	佐 藤 年 男
委 員	樋 口 知 志
委 員	佐 竹 雅 之

会社側出席者名

代表取締役社長	畠 山 大
取締役報道制作局長	小 原 洋
ディレクター	矢 野 一
事務局長	三 浦 茂 樹
事務局	波 岡 功

3. 議 題

(1) 社長あいさつ

(2) 7月単発・6月視聴率・5月視聴者応答記録について

(3) 合評について

合評課題：『Pictures Memory』～写真が語る記録と記憶～

(4) 次回開催について

日 時：令和2年7月29日（水）会議室 11:00～

合評課題：“新型コロナウイルス報道とテレビの役割”

※系列番組審議会委員代表者会議の議題

4. 概 要

声優 神谷明さんをナビゲーターに迎え、写真を見ながら思い出を聞くトーク番組。

閉校になった大船渡市の越喜来中学校卒業生3名から、それぞれの青春の1枚を持ちより、その1枚に込められた熱い想いを語り合う。

また越喜来中 73年分の卒業写真を展示した様子も紹介しながら、写真に込められた「人の想い」やメッセージを追求する内容。

- ・1枚の写真から、その時代の重みや、人生を支える貴重な時間であったことを感じた。
- ・ナビゲーター神谷さんのコメントがおもしろく、進行が良かった。
- ・シンプルな内容であるが、深みや濃さも感じられた。
- ・番組とCMがマッチしており、インパクトがあった。
- ・何を伝えたいのか、番組の主役は何か、焦点がぼけた内容になった。
- ・もっと具体性のある番組タイトルにしてほしかった。